



## レストハウス 4月27日オープン予定

旭山記念公園レストハウス、2019年度は4月27日(土)オープンを予定しています。

噴水も同じく4月27日に運転を始めます。

第2駐車場は雪の解け具合により準備が整い次第のオープンとなります、ご了承ください。

## 新元号「令和」にちなんで、「セキレイ」と「エンレイソウ」

日本の新しい元号が「令和」に決まりました。

そこで今回、「令和」にちなんだ動植物が何かないかと旭山で探してみたところ、いました、ありました。

### ●「鶺鴒」=セキレイ

セキレイは漢字で「鶺鴒」、「レイ」の部首(へん)が「令」です。

セキレイの仲間は、尻尾を上下に振りながら歩くのが特徴です。

### ★キセキレイ=「黄鶺鴒」(右写真上から1枚目)

夏鳥、旭山では4月上旬にやって来て、10月に南に渡りいなくなります。  
山地の河川上流域(溪流)にいる鳥で、旭山では第2駐車場周辺、川沿い及び道路沿いで見られます。



### ★ハクセキレイ=「白鶺鴒」(右写真上から2枚目)

留鳥、都心部でも多く見られ、今や人々になじみの深い鳥のひとつです。  
旭山では噴水広場付近で見られますが、興味深いのは、キセキレイと同じ場所にはいないこと。ハクセキレイは元々河川の中・下流域にいる鳥で、上流域のキセキレイとは棲み分けているためです。



### ★ビンズイ・・・セキレイ科(右写真上から3枚目)

ビンズイは夏鳥、山地で繁殖しますが、旭山では移動時期の春と秋に数日間滞在し、比較的によく見られます。地面で数羽で餌を取り、近づくと1羽が飛び立ち、連れ立って数羽が出てきます。

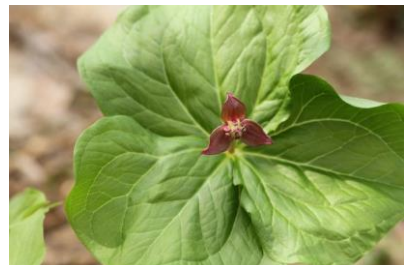


### ※セグロセキレイ=「背黒鶺鴒」はいない

日本に多い「鶺鴒」もう1種、セグロセキレイは旭山では記録がありません。  
セグロセキレイは北海道では生息地が限られており、札幌では少ないです。

### ★エンレイソウ=「延齡草」(右写真上から4枚目)

漢字で書くと縁起のいい「延齡草」。旭山では赤い普通のエンレイソウは多く見られますが、白いオオバナノエンレイソウは記録がなく、ミヤマエンレイソウは稀に見られる年があるくらいです。



※部首に「令」が入る漢字が使われた植物、旭山では他に夏に林床でひっそりと咲く「エゾスズラン」=「蝦夷鈴蘭」がありますが、本家「スズラン」=「鈴蘭」は旭山では見られません。

「令和」は5月1日からですが、偶然にも、キセキレイとエンレイソウ、4月から5月に見られる春らしい鳥と花でした。

新しい時代「令和」、この春はセキレイ・ビンズイとエンレイソウに注目してみてもいいかもしれません。

## 5月は野鳥観察会を毎週末に開催します！

5月は野鳥観察にはもっともよい時期。そこで旭山では、野鳥観察会を毎週末に開催します。

### ●旭山野鳥観察会(定例) 5月11日(土) 8時開始 参加費 100円 それにプラス

「旭山野鳥観察会」8時開始 3回 & 平日 9時開始 1回 6時15分開始「早朝野鳥観察会」2回行います。

開催日時が正式に決まりましたら、ホームページと掲示板にてご案内させていただきます。

野鳥観察初心者の方、あまり経験がない方もお気軽にご参加ください。双眼鏡無料貸出もあります。

## 旭山野鳥メモ ②アオジ

①アオジ Black-faced Bunting *Emberiza spodocephala* スズメ目ホオジロ科  
スズメくらいの大きさ。北海道で夏鳥、4月中旬渡来、本州は冬鳥（一部繁殖）。

緑色の頭、黄色い地色に茶褐色の斑、雄は目の周りがほとんど黒い濃緑色、英語の名前の由来はこれ。それではどこが「青」い？ これは「青菜」の「青」で日本では古来緑を「アオ」と言い習わしていたもの。「アオバト」も同じく。

雄は高さ3～12mの木で囀るがそれ以外は笹藪で生活。道ばたに出てきて餌を取り、人が近づくと「チッ」と鳴いて低く飛んで逃げ、時に道を横切るなど、旭山でも目にする機会が多い。  
アオジは、海岸草原から河川敷、湿地、高原、山地は高山ハイマツ帯までと生息範囲が広く、北海道では出会う機会が最も多い夏鳥といえるかもしれない。ただ、人気はそれほど高くない・・・

野鳥は一般的に、春には営巣場所を探して決めるため行動範囲が広がる。

アオジは春先、南から渡って来て1～2週間は森林に近い住宅街の庭先にも現れるが、5月に入り営巣場所がだいたい決まると住宅街からは姿を消す。

しかし、夏を過ぎ、秋に南に渡る直前の頃になると、再び住宅街の庭先に1週間ほど現れる。  
まるでお別れのあいさつをして去っていくようで感慨深いものがあり、冬が近いことを実感する。  
アオジは律儀な鳥である。



### 4月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

★ホオジロ＝3月25日今年初認、昨年より1週間早い。展望台周辺で囀りが聞かれます。モズも同日初認。

★イカル＝4月1日今年初認 ★ヤマシギ＝4月3日今年初認 ★キジバト＝3月24日今年初認

◎4月中に渡って来る主な野鳥・・・アオジ、ウグイス、ルリビタキ、キセキレイ、トラツグミ、メジロ、ヤブサメ、アカハラ、クロツグミ、センダイムシクイ

★シマエナガ＝3月からどこかでつがいでき、巣作りに入ったようですが、一方で、今年は繁殖をしない昨年生まれの若鳥が数羽で行動しています。

★キクイタダキ＝3月中旬から囀りがよく聞かれています。!

★ウソ＝近くで観察できる機会が多くなってきました。

★クマゲラ＝3月も園内でしばしば観察されていました。4月も可能性大。

★ヤマゲラ(右写真)＝4月は毎年近くで見られる機会が多いです。



### 花の季節がいよいよ始まる！

エンレイソウとともに春を告げる花エゾエンゴサク(右写真左)。  
旭山都市環境林「ホオノキ散策路」には、エゾエンゴサクが一面に咲く場所があります(写真は昨年撮影)。

黄色い花ナニワズ(右写真右)、公園内で毎年咲く場所では、今年も先陣を切って花が開きました(写真は今年のもの)。  
詳しい場所は森の家にておたずねください。



### 編集 後記

かつてここでも話題にしました、春になると花や虫の名前を思い出す話。  
北海道は冬が長いため、春になると花や虫の名前を忘れることがある。  
雪が解ける4月は「頭のリハビリ期間」、図鑑やネットそれに、以前撮影した花や虫の写真をしながら名前を覚え直す時期ですね。

アキタブキ



公式サイト

「アカゲラ通信」 第67号 2019(平成31)年4月7日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話 011-200-0311 (土・日・祝日 10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahi-yama/>